

# 県内完結の医療目指し 子どもの未来支える

配置室 2

器材室



子どもたちの健康を守るため、充実した医療体制を整えている群馬大医学部附属病院小児科は、県内の小児医療の中心となって、さまざまな疾患に対応している。今年7月、長年、同院の小児医療に携わってきた滝沢琢己さんが同科教授に就任。滝沢教授は「小児科の診療が県内で完結できるよう、医療体制をさらに充実させ、最先端の医療の提供を目指す」と力を込める。

## 群馬大医学部附属病院小児科 滝沢 琢己 教授

### 移植や重粒子線治療も

当院の小児科は、中学3年の15歳までが診療の対象年齢となっていますが、慢性疾患で長く治療を続けている子どもは20歳まで継続して診療に当たっています。「消化器」「血液腫瘍」「内分泌・代謝」「アレルギー・膠原病」「神経」「精神」「腎臓」「新生児」の八つの臨床グループに分かれ、各専門の医師や看護師、保育士のスタッフ総勢約80人で対応しています。

クリニックをはじめ、小児専門の県立小児医療センターや、前橋赤十字病院や高崎総合医療センターなどの県内の医療機関と連携して医療機能を分担することで、専門的治療が迅速に受けられるようにしています。

昨年度、外来人数で最も多かったのが食物アレルギーの178人。てんかん(132人)、発達障害(120人)、極・超低出生体重児(112人)、低身長(90人)の順に多いです。気管支喘息や感染症などで発症する脳症の患者も診療しています。県内で唯一、小児への造血幹細胞移植ができ、小児悪性腫瘍に対する重粒子線治療にも対応しています。

### 遊びで肯定的に

白血病や悪性リンパ腫、脳腫瘍といった長期入院を余儀なくされる子どもに対して、普段の生活に近い形で、遊びや勉強ができるように支えていくことが重要です。

当院には「ホスピタル・プレイ・スペシャリスト」(HPS)という資格を持つ保育士がおり、子どもたちのサポートに努めています。

HPSは、遊びを通して子どもたちが入院生活や治療などの経験を肯定的に捉えられるよう、支援しています。

患者である子どもに、人形や絵本を使って事前に手術や治療法を分かりやすく説明する「プレパレーション」を行

っています。恐怖心や不安を最小限に抑える効果があります。

また、気を紛らわせて痛みの回避につながる「ディストラクション」も有効です。遊びに夢中にさせながら採血する、好きなDVDを見ながら局所麻酔での検査をするといった方法を取ることによって、スムーズに医療を提供できます。

### 医療の質向上へ

週に1度、小児科でのカンファレンスを行い、医師や看護師が意見を出し合いながら治療方針を決めています。小児外科や脳神経外科、耳鼻咽喉科や眼科など各診療科と連携し、円滑に適切な治療を進めています。また、月に1度程度、臨床グループごとにほかの病院も交えた勉強会を開き、医療の質の向上に努めています。

信頼を得るためには、患者である子どもだけでなく、親との関係を良好にすることも重要です。医療事故を防ぐためにもインシデント(重大事故につながる危険性があつた出来事)の共有や、治療計画に誤りがないかを確認し、常に患者を中心とした医療を進めていくことが求められています。

現在は中高生が集えるようなスペースがありません。今後、青少年向けの部屋を作り、同年代の患者が交流できる場を設けたいと考えています。また、医師が不足している新生児医療の充実を図り、慢性的に疾患のある子どもの未来を支えるために、医療の質の向上に向け、力を注いでいきます。



患者の治療方針を決めるため、週に1度カンファレンスを開き、医師や看護師が意見を出し合っている

たきざわ・たくみ 1970年4月長野県生まれ。群馬大医学部卒。米国・国立衛生研究所(NIH)に留学。専門はアレルギー、免疫・膠原病。趣味は読書、庭いじり、アイロンがけ

#### 群馬大病院小児科で診療する代表的疾患

臨床グループ	疾患
消化器	炎症性腸疾患、慢性肝炎
血液腫瘍	白血病、悪性リンパ腫、血友病
内分泌・代謝	低身長、成長ホルモン分泌不全、糖尿病、高度肥満
アレルギー・膠原病	食物アレルギー、気管支喘息、若年性特発性関節炎
神経	てんかん、けいれん、脳症
精神	発達障害、心身症
腎臓	慢性糸球体腎炎、先天性腎尿路異常
新生児	極・超低出生体重児

理念「大学病院としての使命を全うし、国民の健康と生活を守る」

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。  
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。  
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。  
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。



群馬大学医学部附属病院  
前橋市昭和町3-39-15 TEL.027-220-7111(代表)  
<https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/>